

第18回 三郷市市民意識調査

報告書

概要版

これからも三郷市に住みたいと思いますか？



<住みたい>



調査の概要

調査の設計	■調査地域・・・三郷市全域 ■調査対象・・・三郷市在住の満18歳以上の男女2,000名 ■対象者抽出方法・・・住民基本台帳により無作為抽出 ■調査方法・・・郵送による配布・回収方式（インターネットからの回答も可能） ■調査期間・・・令和6年9月12日（木）～10月3日（木） ■回収結果・・・有効回収数957（郵送761、インターネット196） 有効回収率 47.9%
調査項目	1. 住みごちと定住意識について 2. 三郷市全体について 3. 読書のまち三郷について 4. みどりと公園について 5. 防災について 6. 福祉について 7. 健康促進について 8. 生涯学習、市民活動・ボランティア活動について 9. 男女共同参画について 10. 広報について 11. 三郷市職員の印象について ※概要版には1. 2. 5. 6の一部の結果が記載されています。

【概要版の見方】

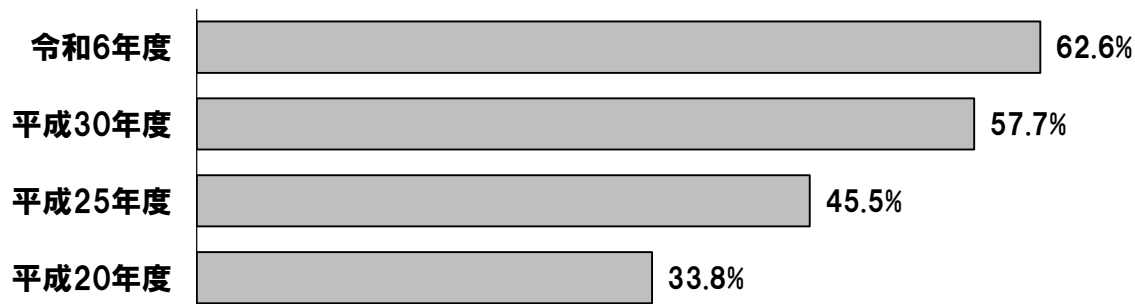
- ・図表中の「n」は、各問に対する回答者数。比率（%）は各選択肢の回答数を回答者総数で除したものの。小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、数値の合計が100%を超える場合があります。
- ・場合により語句を短縮・簡略化している箇所があります。
- ・回答数者が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていません。

住みごころ（「非常に住みよい」と「まあ住みよい」の合計）

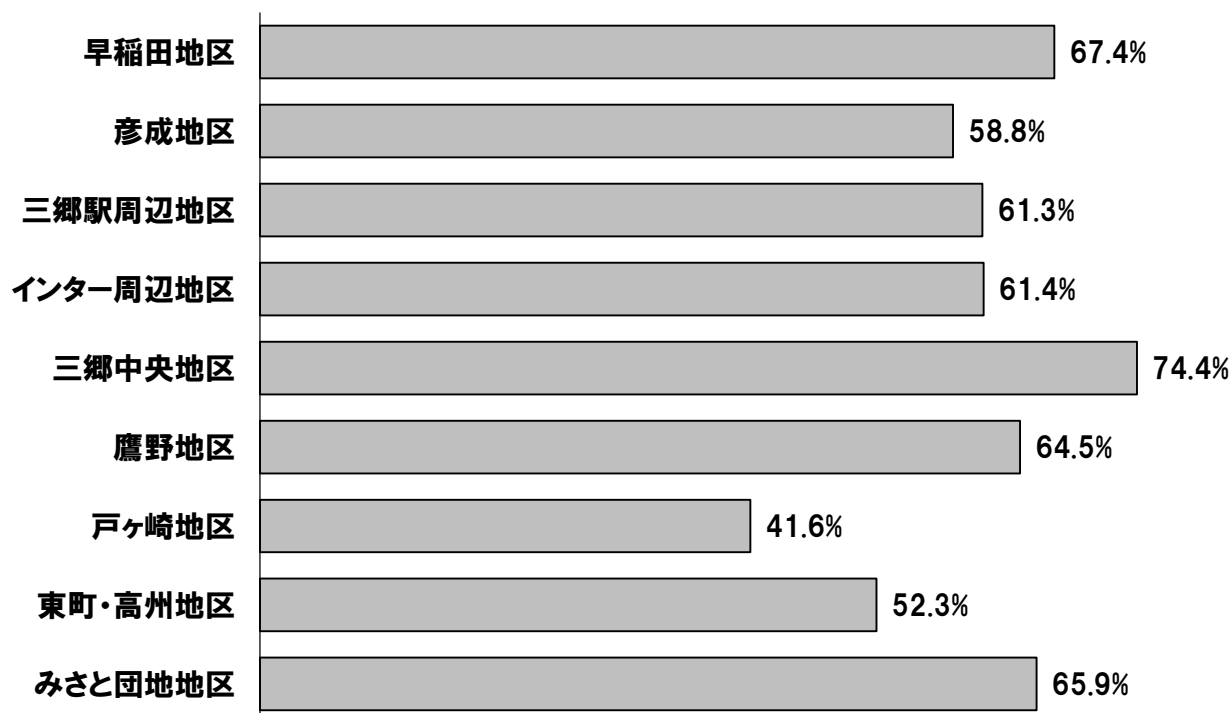
あなたにとって、現在の三郷市の住みごころはいかがですか。

<住みよい>

【経年比較】



【居住地区別】



三郷市の住みごころについて経年比較でみると、「非常に住みよい」「まあ住みよい」を合わせた<住みよい>は、平成20年度が33.8%、平成25年度が45.5%、平成30年度が57.7%、令和6年度が62.6%と調査のたびに増加している。

居住地区別でみると、<住みよい>は三郷中央地区が74.4%と最も高く、7割を超えている。次いで早稲田地区が67.4%、みさと団地地区が65.9%となっている。全ての地区で、<住みよい>は<住みにくい>を上回っている。

三郷のまちの特徴 TOP5（「魅力を感じる」と「どちらかといえば魅力を感じる」の合計）

あなたは、三郷のまちの特徴について魅力を感じていますか。

【上位5項目】

高速道路を利用した交通の利便性・・・78.9%

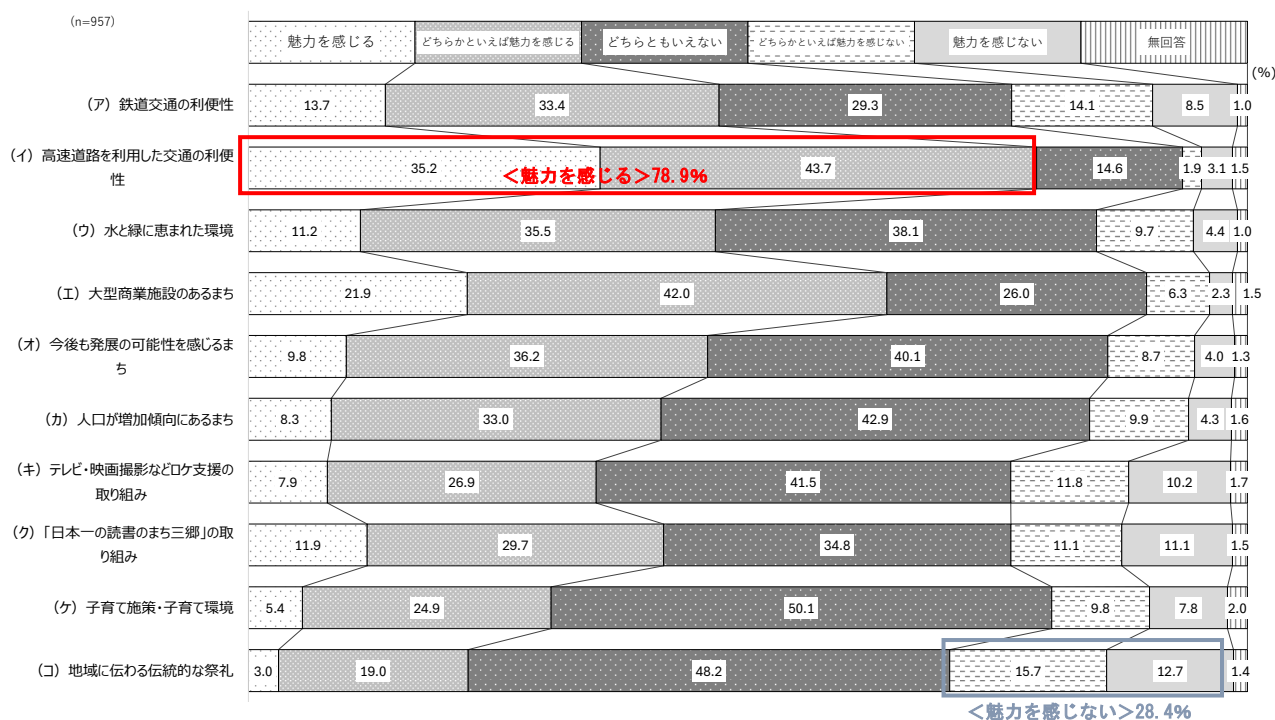
大型商業施設のあるまち・・・63.9%

鉄道交通の利便性・・・47.1%

水と緑に恵まれた環境・・・46.7%

今後も発展の可能性を感じるまち・・・46.0%

【全体】

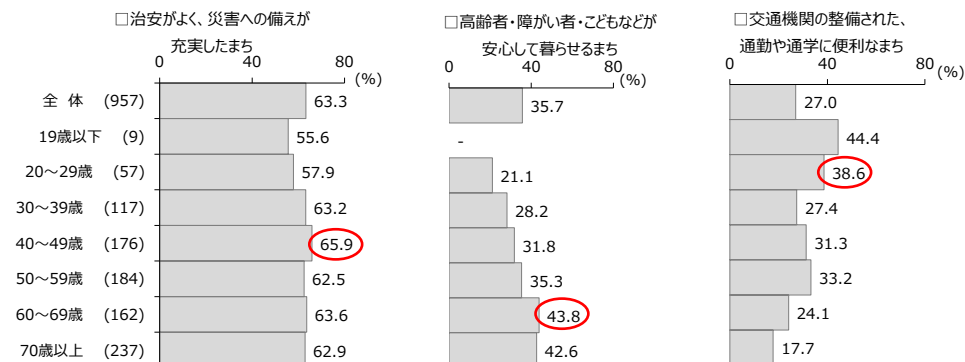


三郷のまちの特徴をみると、「魅力を感じる」と「どちらかといえば魅力を感じる」を合わせた＜魅力を感じる＞では『高速道路を利用した交通の利便性』が78.9%と最も高く、次いで『大型商業施設のあるまち』が63.9%、『鉄道交通の利便性』が47.1%となっている。一方、「魅力を感じない」と「どちらかといえば魅力を感じない」を合わせた＜魅力を感じない＞では『地域に伝わる伝統的な祭礼』が28.4%と最も高くなっている。「どちらともいえない」では、『子育て施設・子育て環境』と『地域に伝わる伝統的な祭礼』が約5割となっている。

まちの将来像

あなたは、将来の三郷市がどのようなまちになってほしいと思いますか。（2つ以内）

【上位3項目・年齢別】

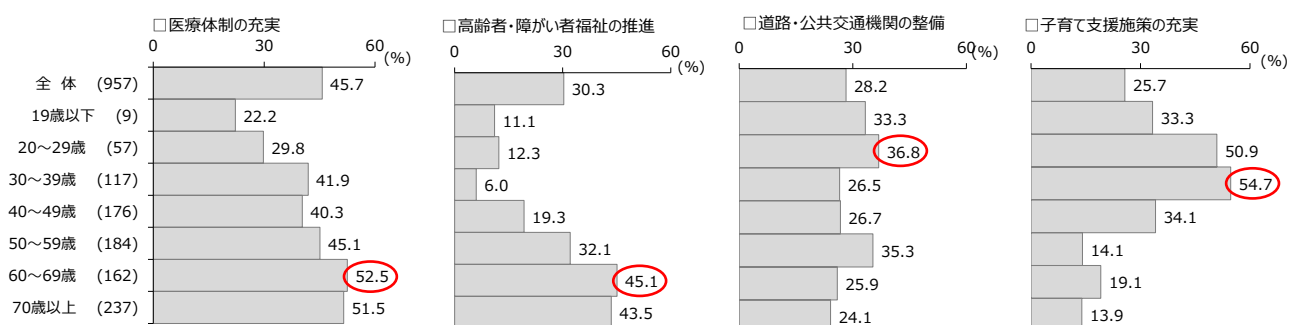


将来の三郷市がどのようなまちになってほしいかを年齢別でみると、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」は40～49歳が65.9%と最も高く、他の年齢層でも5割を超えている。「高齢者・障がい者・子どもなどが安心して暮らせるまち」は60～69歳が43.8%と最も高く、次いで70歳以上が42.6%と、高齢層では4割を超えている。「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」は20～29歳が38.6%と最も高くなっている。

力を入れてほしい分野

あなたの考える将来の三郷市を実現するためには、今後、市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。（3つ以内）

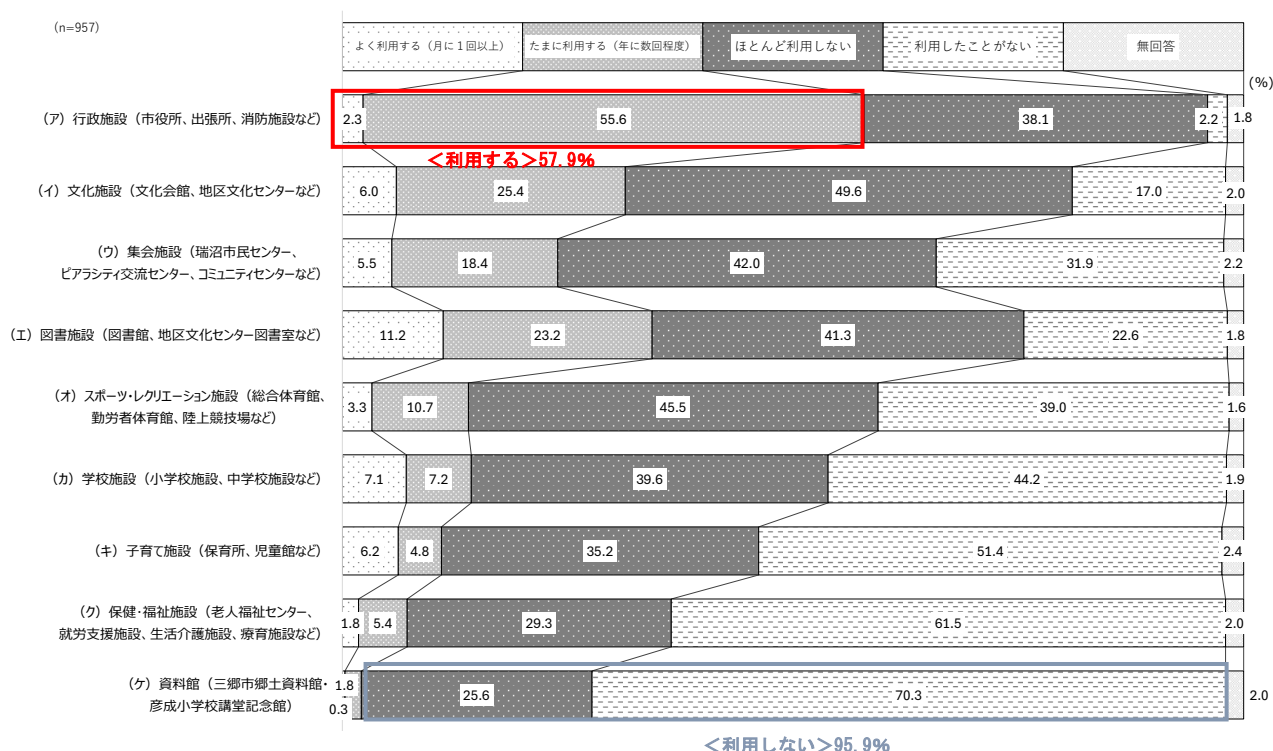
【上位4項目・年齢別】



年齢別でみると、「医療体制の充実」は60～69歳が52.5%と最も高く、次いで70歳以上が51.5%となり、60歳以上では5割を超えている。また、「高齢者・障がい者福祉の推進」は60～69歳が45.1%と最も高く、次いで70歳以上が43.5%となっている。「道路・公共交通機関の整備」は20～29歳が36.8%と最も高く、次いで50～59歳が35.3%となっている。「子育て支援施策の充実」は30～39歳が54.7%と最も高く、次いで20～29歳が50.9%となっており、その他の年代よりも10ポイント以上高くなっている。

公共施設の利用頻度

あなたは次の公共施設をどのくらい利用していますか。



公共施設の利用頻度は、「よく利用する（月に1回以上）」と「たまに利用する（年に数回程度）」を合わせた<利用する>では、「行政施設（市役所、出張所、消防施設など）」が57.9%と最も高く、次いで「図書施設（図書館、地区文化センター図書室など）」が34.4%、「文化施設（文化会館、地区文化センターなど）」が31.4%となっている。「図書施設（図書館、地区文化センター図書室など）」は「よく利用する（月に1回以上）」が11.2%と最も高くなっている。一方で、「ほとんど利用しない」と「利用したことがない」を合わせた<利用しない>では、「資料館（三郷市郷土資料館・彦成小学校講堂記念館）」が95.9%と最も高く、次いで「保健・福祉施設（老人福祉センター、就労支援施設、生活介護施設、療育施設など）」が90.8%、「子育て施設（保育所、児童館など）」が86.6%となっている。



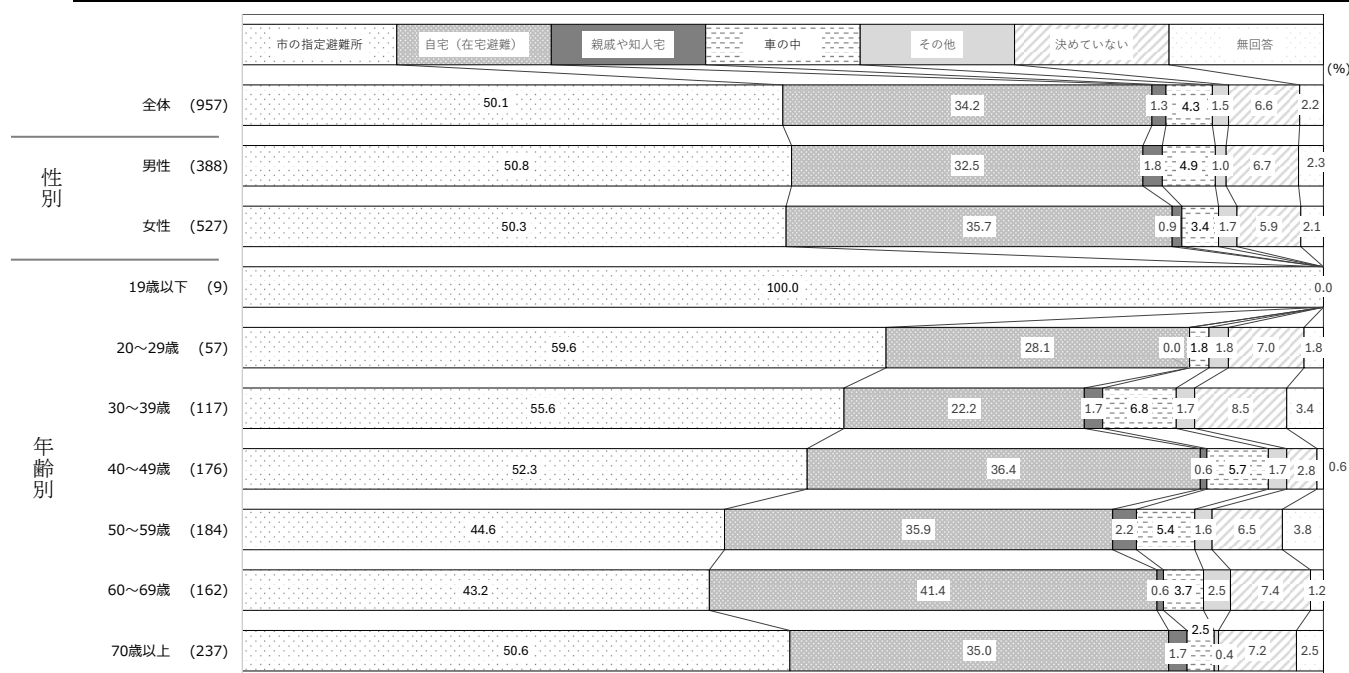
希望の郷交流センター



中央一丁目公園

防災について

大きな災害が発生した場合、あなたが想定している避難先はどこですか。



災害発生時の想定している避難先は、「市の指定避難所」が50.1%、次いで「自宅（在宅避難）」が34.2%となり、合わせると8割を超えている。一方、「決めていない」は6.6%となっている。

性別では、全体と同じ傾向となり、男女差は見られなかった。

年齢別では、「市の指定避難所」は、20～29歳が59.6%と最も高く、次いで30～39歳が55.6%となっている。一方で60～69歳では43.2%と最も低くなっている。「自宅（在宅避難）」は、60～69歳が41.4%と最も高く、次いで40～49歳が36.4%となっている。

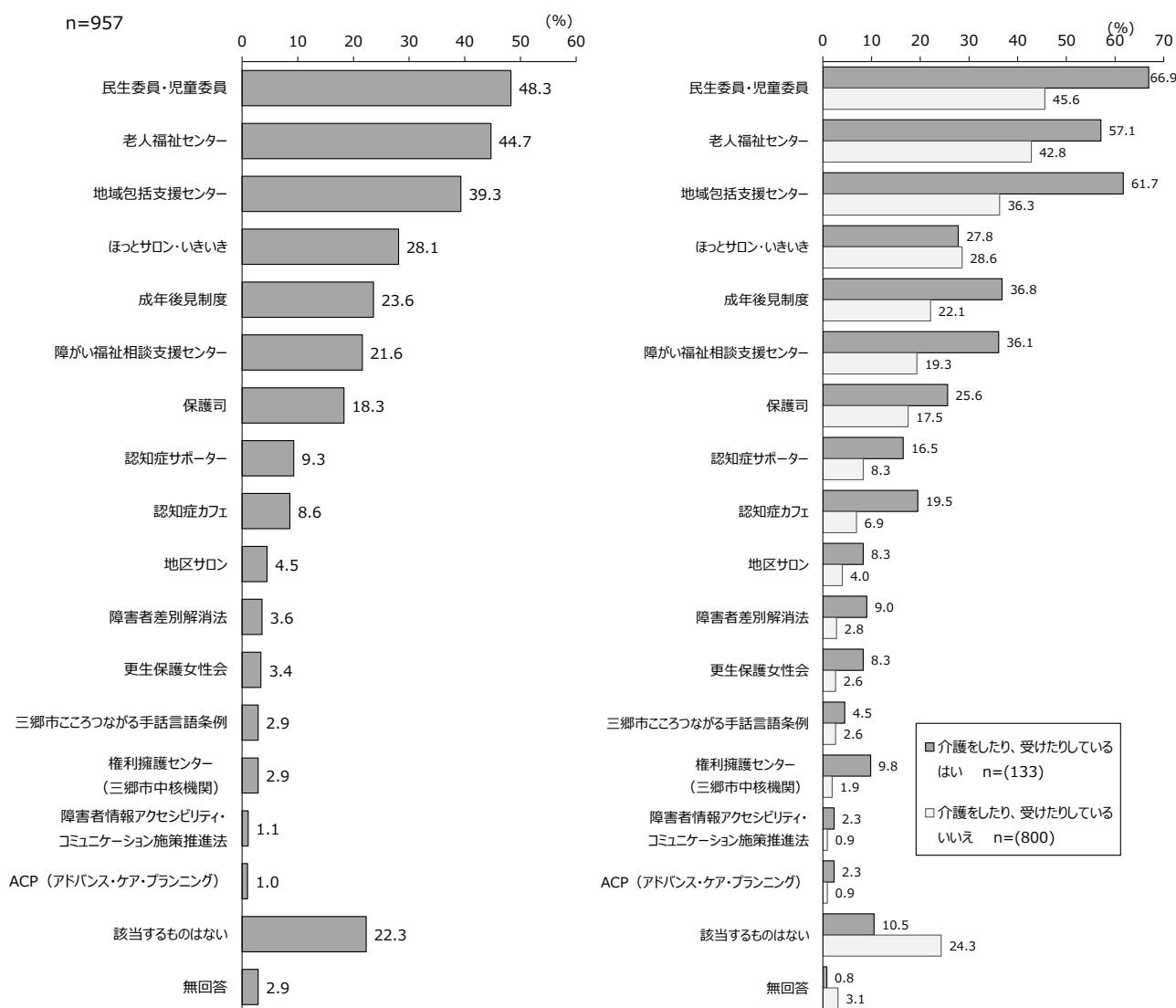


トイレトレーラー

福祉について

三郷市の福祉に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。

【介護・被介護の有無別】

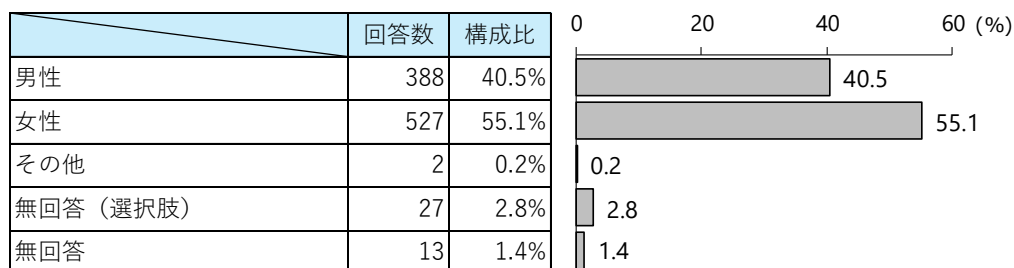


三郷市の福祉に関する事柄のうち、見たことや聞いたことがあるものは、「民生委員・児童委員」が48.3%と最も高く、次いで「老人福祉センター」が44.7%、「地域包括支援センター」が39.3%となっている。一方、「該当するものはない」は22.3%となっている。

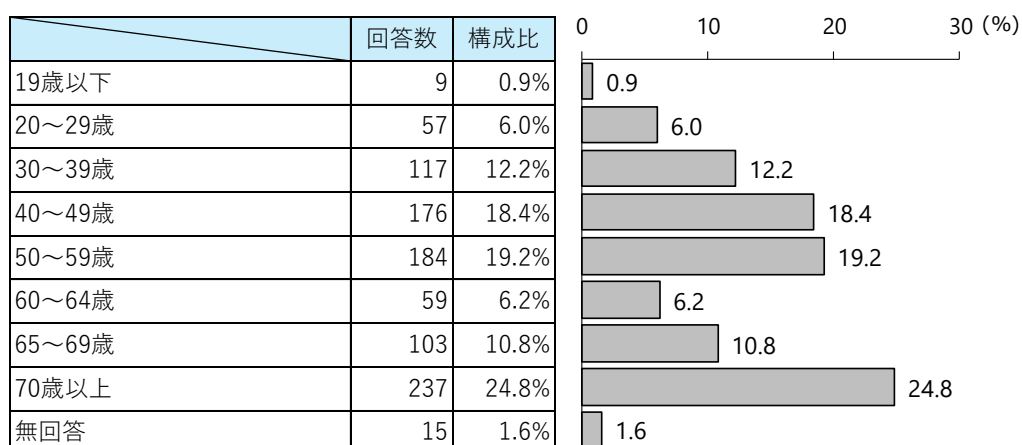
介護・被介護の有無別でみると、介護をしたり、受けたりしている方は「民生委員・児童委員」が66.9%、「地域包括支援センター」が61.7%、「老人福祉センター」が57.1%と6割前後あり高い。介護をしたり、受けたりしていない方は「民生委員・児童委員」が45.6%で最も高くなっており、「該当するものはない」は24.3%となっている。介護をしたり、受けたりしているに「はい」と回答した方は、「いいえ」と回答した方よりほぼ全ての項目で高くなっている。

基本属性

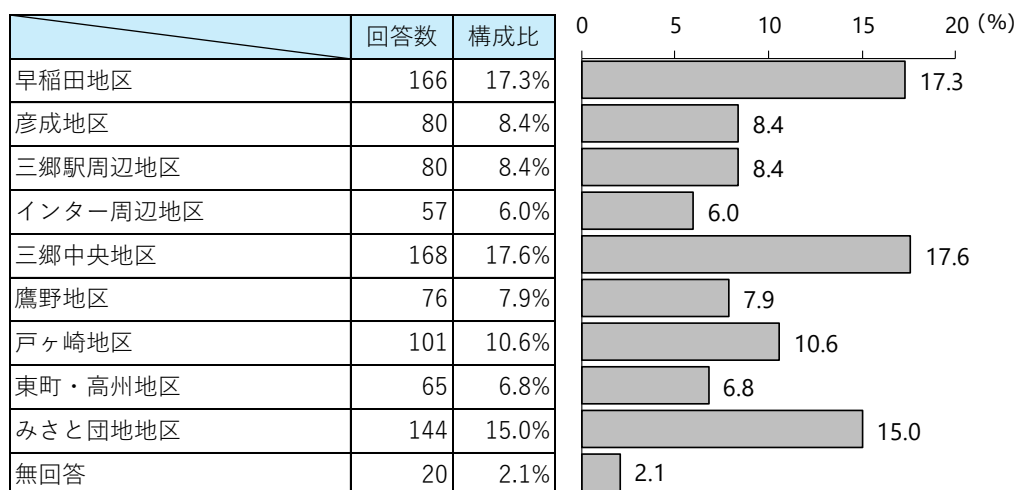
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住地区



三郷市 企画政策部 広報広聴課

〒341-8501 埼玉県三郷市花和田648番地1

電話 048-953-1111（代表）

048-930-7815（直通）



三郷市ホームページ

<http://www.city.misato.lg.jp>

市政に関する情報をホームページで公開しています。